

夫婦が本音で話せる魔法のシート

〇〇家 作戦会議

最近夫婦で会話していますか？
自分の気持ちを上手く相手に伝えられず、モヤモヤしていませんか？
このシートを使うとあら不思議、すんなり話ができ2人の仲も深まります。
さあ、楽しく真剣に、これからの2人のこと・家族のことを話してみましよう。

PART.1 素直な気持ちを伝えてみよう

自分がどんな暮らしをしているのか、日々どんなことを思っているのか。
下の空欄を埋めて、パートナーとシェアしましょう。

私の1日は、(楽しい・忙しい・充実している・辛い・ゆったり・疲れる)。

には満足している。

でも本当はもっと (したい・やってみたい)。

夫・妻には に感謝しています。

欲を言えばもっと、(家事に関わってくれと・仕事を頑張ってくれと・
育児に関わってくれと・二人の時間が持てると・) 嬉しい。



書いた内容を読みあげましょう。
聞いてみて意外だったところ・知らなかったところ等、感想を伝えましょう。

内閣府ホームページ(<http://www.gender.go.jp>)より作成

発行：2020年 池田市 市民活力部 人権・文化国際課

池田市男女共同参画パンフレット

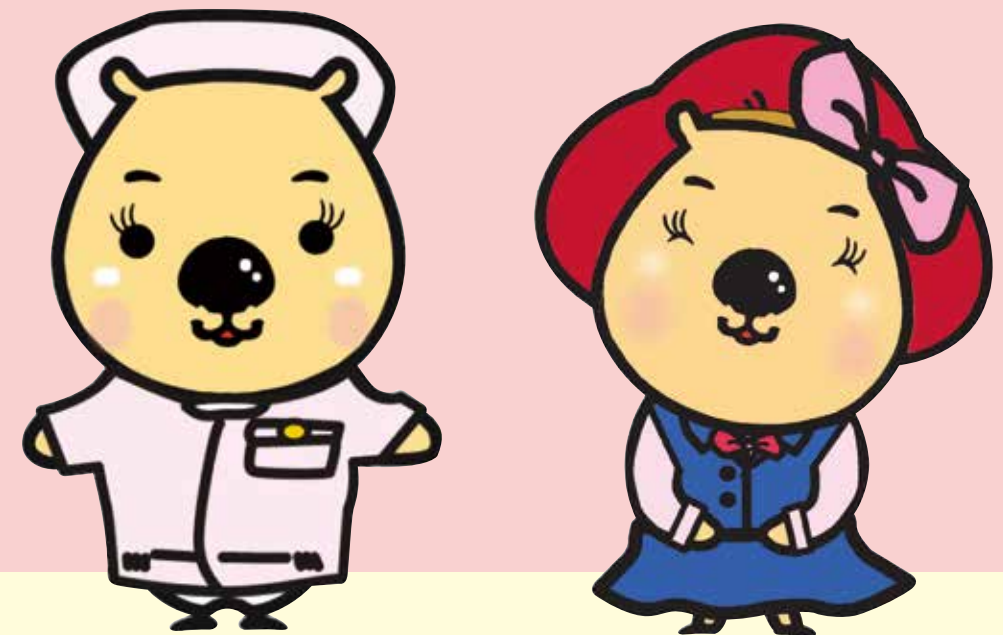
男女格差を図る指数

ジェンダー・ギャップ指数

(GGI)

2019年

日本 121位 / 153か国



女性も男性も、ともに豊かに輝く社会をめざして

池田市

ジェンダー・ギャップ指数について

女性差別撤廃条約は、1979年に国連総会で採択され、令和元年で制定から40周年を迎えます。

日本では1985年に締結されましたが、女性差別は本当に無くなったのでしょうか。

ジェンダー・ギャップ指数は、スイスの非営利団体「世界経済フォーラム」が独自に算定したもので、経済・教育・保健・政治の4分野の指標から構成された男女格差を測る指数で、0が完全不平等、1が完全平等を意味しています。我が国の2019年におけるジェンダー・ギャップ指数は0.652で、**153か国中121位**(図1)となり、国際的に見て低い水準です。

これは下記のとおり、**政治・経済分野の順位が低い**ことが原因です。

- (経済分野) 115位 労働力率、同じ仕事の賃金の同等性、所得の推計値、管理職に占める比率、専門職に占める比率
- (教育分野) 91位 識字率、初等・中等・高等教育の各在学率
- (保健分野) 40位 新生児の男女比率、健康寿命
- (政治分野) 144位 国会議員に占める比率、閣僚の比率、最近50年の行政の長の在任年数

(図1)

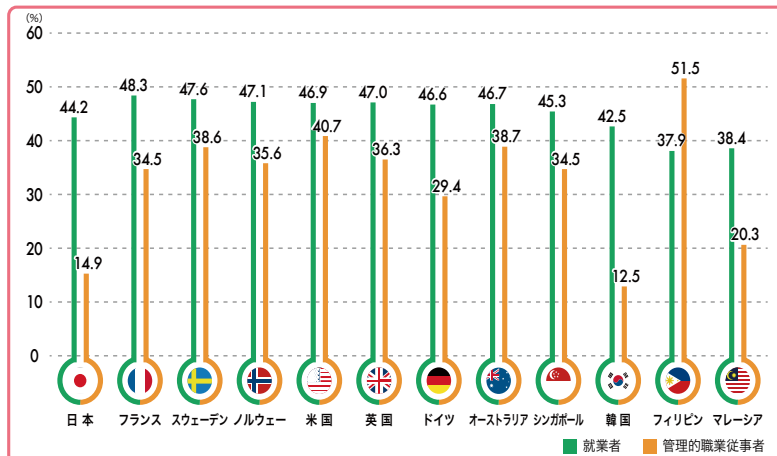
順位	国名	GGI値
1	アイスランド	0.877
2	ノルウェー	0.842
3	フィンランド	0.832
4	スウェーデン	0.820
5	ニカラグア	0.804
6	ニュージーランド	0.799
7	アイルランド	0.798
8	スペイン	0.795
⋮	⋮	⋮
121	日本	0.652

(内閣府ホームページ)
http://www.gender.go.jp より作成

2019年1月現在の国会議員の女性割合は、衆議院10.2%・参議院20.7%です。

また、2018年の企業における女性の参画については、就業者に占める女性の割合は44.2%と諸外国と大差ありませんが、管理的職業従事者に占める女性の割合は14.9%で諸外国と比べて低水準となっています。

(世界経済フォーラム「グローバル・ジェンダー・ギャップ報告書2020」、令和元年度版男女共同参画白書(概要) http://www.gender.go.jp 参照)



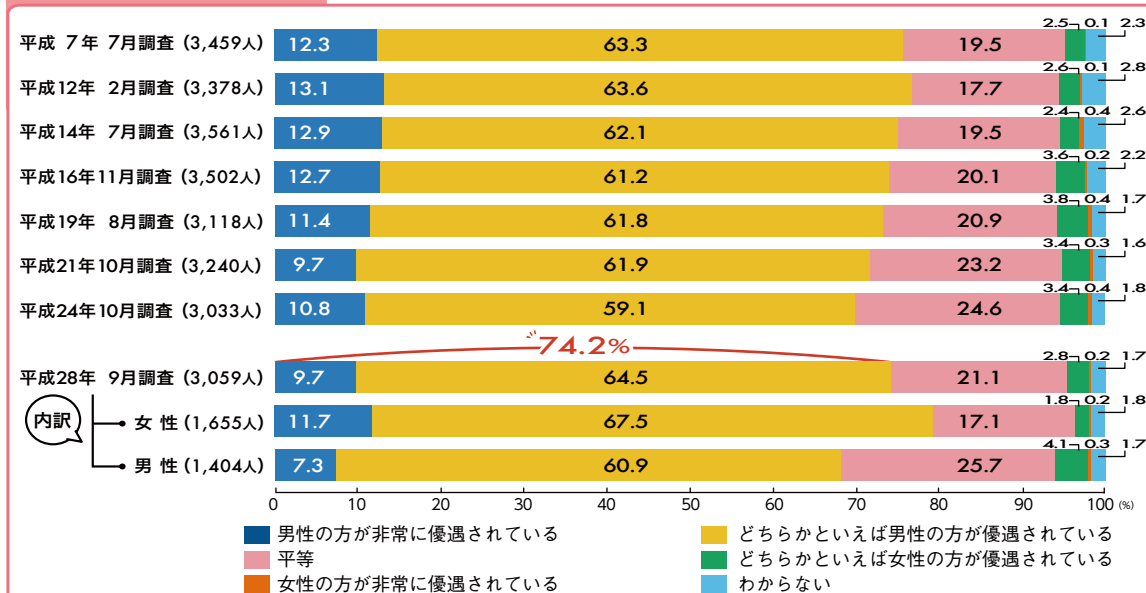
出典：「ひとりひとりが幸せな社会のために」(内閣府) http://www.gender.go.jp

あらゆる分野において、男女が対等なパートナーとして活動に参画する機会が確保され、利益を享受することができ、共に責任を担う社会が男女共同参画社会です。

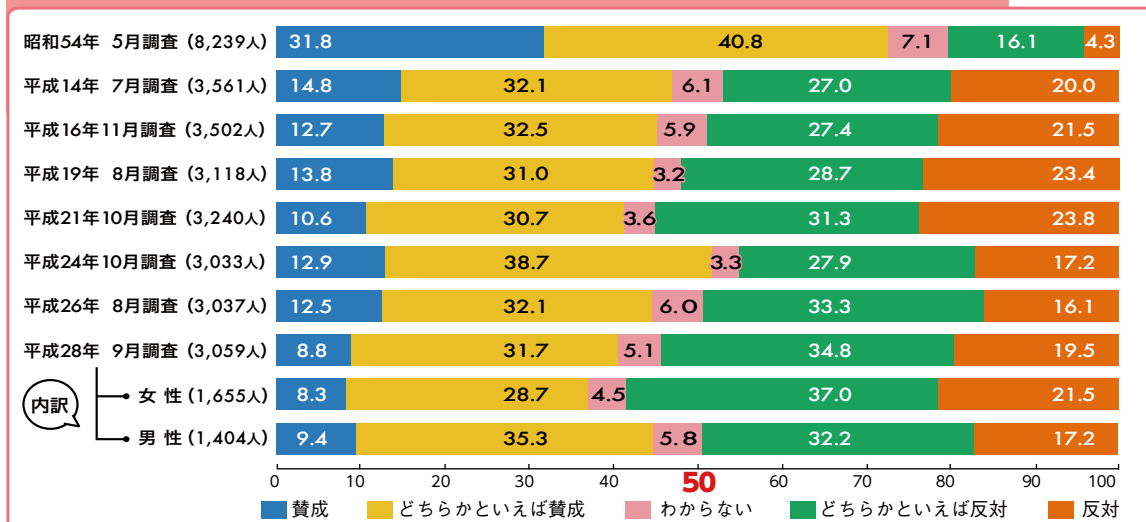
男女共同参画社会を実現するためには、経済・政治分野における女性のより一層の参画と地位向上が求められます。

男女共同参画社会に関する意識について

男女の地位の平等感



固定的な性別役割分担意識「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」



出典：「ひとりひとりが幸せな社会のために」(内閣府) http://www.gender.go.jp

平成28年9月の内閣府調査によると、男女の地位については、74.2%が「男性の方が優遇されている」と考えています。

また、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に半数近くの人賛成で、「男性はこうあるべき、女性はこうあるべき」と性別によって役割を固定した考え方(固定的性別役割分担意識)の人が少なくないことを示しています。

男女平等・男女共同参画の意識が浸透することは、男女共同参画社会を形成する上で基盤となるものです。

一人ひとりの個性と能力に合わせて多様な生き方が認められる男女共同参画社会こそが、活力ある持続可能な社会であるとの考え方が浸透することが必要です。